

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【公開番号】特開 2019-75129 (P2019-75129A)

【公開日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【年通号数】公開・登録公報 2019-018

【出願番号】特願 2018-218006 (P2018-218006)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

H 0 4 N 7/15 (2006.01)

H 0 4 M 3/56 (2006.01)

G 0 6 Q 10/10 (2012.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 6 5 0 A

H 0 4 N 7/15 1 2 0

H 0 4 M 3/56 C

G 0 6 Q 10/10

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 29 日 (2020.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の情報処理端末が通信可能に構成される通信システムであって、

前記情報処理端末を、他の情報処理端末に配信する音声を取得するマイク機能及び配信された音声を再生するスピーカ機能のうち少なくとも 1 つの機能を制御する制御端末として動作させるか、他の情報処理端末によって制御されるマイク機能及びスピーカ機能のうち少なくとも 1 つの機能を実行する機能実行端末として動作させるかを決定する決定手段と、

を備えることを特徴とする通信システム。

【請求項 2】

前記情報処理端末を、前記通信システムにおいて通信する複数の端末のうち、前記制御端末として機能させるか、前記機能実行端末として機能させるかを指定するための画面を表示すべく制御する画面表示制御手段と、

を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の通信システム。

【請求項 3】

前記決定手段は、前記情報処理端末を、どの情報処理端末によって制御される前記機能実行端末とするかを決定することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の通信システム。

【請求項 4】

複数の情報処理端末が通信可能に構成される通信システムの制御方法であって、

前記情報処理端末を、他の情報処理端末に配信する音声を取得するマイク機能及び配信された音声を再生するスピーカ機能のうち少なくとも 1 つの機能を制御する制御端末として動作させるか、他の情報処理端末によって制御されるマイク機能及びスピーカ機能のうち少なくとも 1 つの機能を実行する機能実行端末として動作させるかを決定する決定工程を含むことを特徴とする制御方法。

【請求項 5】

複数の情報処理端末が通信可能に構成される通信システムを、
前記情報処理端末を、他の情報処理端末に配信する音声を取得するマイク機能及び配信
された音声を再生するスピーカ機能のうち少なくとも1つの機能を制御する制御端末とし
て動作させるか、他の情報処理端末によって制御されるマイク機能及びスピーカ機能のう
ち少なくとも1つの機能を実行する機能実行端末として動作させるかを決定する決定手段
として機能させることを特徴とするプログラム。